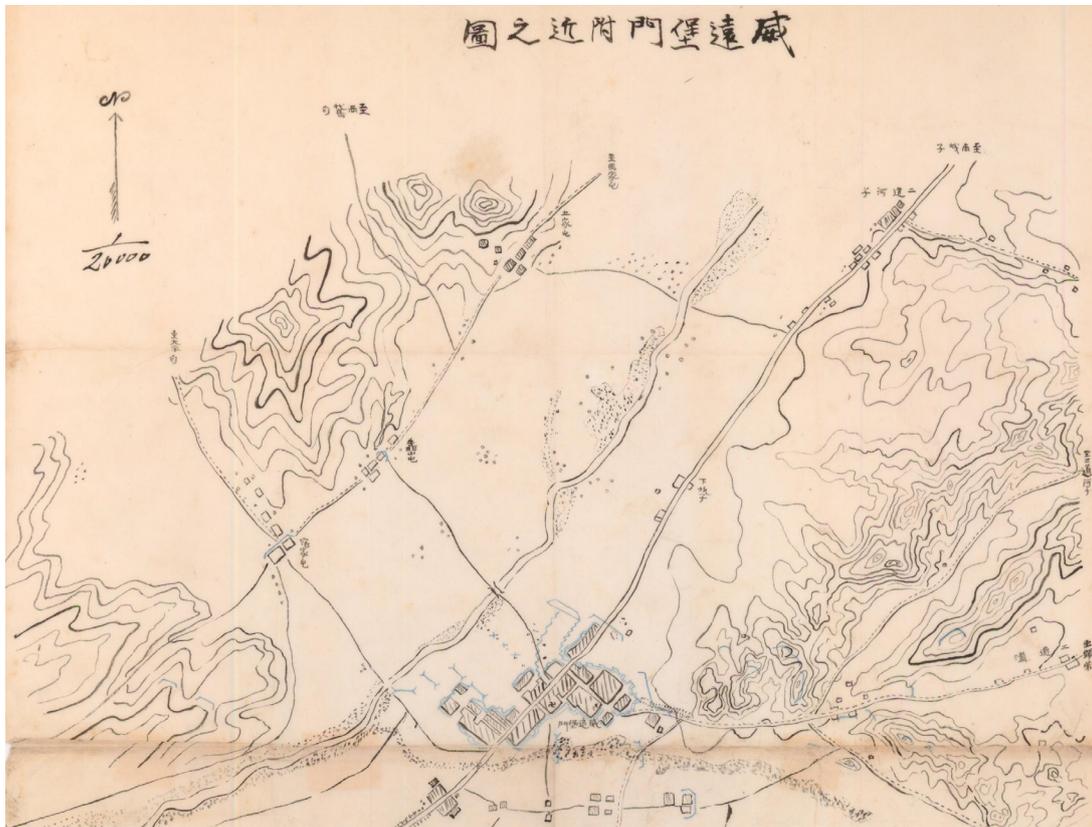


外邦図 研究 ニューズレター

財団法人国土地理協会平成20年度研究助成「社会教育機関等への助成」中間報告書
平成20年度科学研究費補助金(基盤研究[A][1] 課題番号:19200059)
「アジア太平洋地域の環境モニタリングにむけた地図・空中写真・気象観測資料の集成」
研究成果中間報告書



威遠堡門附近之圖

日露戦争末期にあたる、1905(明治38)年3月以降、旧満州の戦場で作成された図で、スケッチ(目算測図)によると考えられる。作製者は第四軍第十師団の将校と推定される。威遠堡門付近は、日本軍の占領後ロシア軍の奪回、さらに日本軍の再占領という経過をたどり、集落のまわりだけでなく、付近の丘陵にも掩体、鹿柴、散兵壕が記入されている。(本誌、20-22頁参照)

外邦図研究グループ

大阪大学大学院文学研究科人文地理学教室
〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5
<http://www.let.osaka-u.ac.jp/geography/gaihouzu/>

2009年3月